

【雑感】SNSについて

私は約30年、教員として中学生とともに過ごしてきましたが、その間の大きな変化を感じられることの一つは、子供たちの人間関係づくりについてです。

友だち関係がうまくいかなくなった場合、自分たちの力で修復していくのが理想で、それでもうまくいかなかった時には大人がその手助けをします。しかし近年は、ほとんどの場合に大人の手助けが必要で、その解決には大きな労力が必要な場合が多いです。そして、この傾向は、SNSが私たちの生活で身近なものとなってから顕著になっていると感じています。

「人間関係が良好」ということは「自分といろいろな人との距離感がバランスよくとれ正在こと」であると思います。どんなに親しい人でも、常に近い距離感でいるとうまくいかないことがあります。ある程度離れた距離感をとった方がうまくいくこともあります。相手であったり、そのときどきの状況であったり、いろいろなことを感じたり、時にはケンカをしたり、謝ったりしながら距離感のバランスをとります。お互いに顔を合わせづらい時もあります。大人でも苦労することがあります。しかし、大切なことはきちんと顔と顔を合わせて伝え合わなければなりません。

SNSは常に一定以上の距離感があるので、自分のことを相手に伝えやすい道具です。しかし、自分の心の中にとどめておくべきことまで発信してしまい相手を傷つけたり、きちんと相手に正面で伝えるべき大切なことまでもSNSで済ませたり、といった負の側面が懸念されます。

私たち大人が、もしも自分の中学時代にこのようなSNSに囲まれた環境であつたら、スマートやタブレット等の道具をはたして正しく適切に使いこなすことができたでしょうか。中学生時分の私は、そこまで自分を律することはできなかつたでしょう。ましてや生成AIの登場です。その人次第でいくらでも悪用できます。「新しい技術に法の整備が追いついていない」のが現状です。私たちの理性や自律にかかっています。

今の中学生は、大変な時代を頑張っています。そして理性や自律といった大切なものを学んでいる最中です。大人全体でSNS等のメリット・デメリット（特にデメリット）をきちんと捉え、子供たちを支え、見守っていかなければならぬと強く感じている今日このごろです。